

2022.12.23

在日ミャンマー人を支援し民主化運動も尽力 ミンスイさん(62)

「在日ビルマ市民労働組合」の会長として、日本で働くミャンマー人同胞を支援する傍ら、母国の民主化運動に携わる。長年の活動により、権力と闘い人権を擁護した人に贈られる「多田謡子反権力人権賞」に選ばれた。

ミャンマーのヤンゴンで生まれ、出稼ぎのため1992年に日本へ。飲食店で働きながらアルバイトの学生に教えを請い、テレビを見ては辞書を引いて、日本語を身に付けた。

いったん帰国して2002年に

再来日し、結成間もない市民労組に参加した。当初は非正規滞在者の相談が多かったが、その後、技能実習生が急増。岐阜県内の縫製会社の違法な長時間労働や賃金未払いを追及し、解決に導いた。

「外国人技能実習制度は奴隷労働になりがちで、廃止するべきだ」と訴える。最近はドメスティックバイオレンスや交通事故など労働以外の問題も持ち込まれ、同胞の駆け込み寺になっている。

永住資格を得て、夜遅くま

この人



で相談や会議に追われる日々。「国際社会はウクライナの方を向いていて、ミャンマーへの支援がない。民主主義と平和を取り戻すまで、行動するしかない」 (原真)

2022.12.23